

地域生活支援センターすたあと 令和4年度 事業報告書

《令和4年度の経過と評価》

- ・4年度は未来事業検討の一環として法人事業を一部兼務体制で行った。
現状の業務体制での課題（ヘルパー不足・高齢化）の改善策の一つ。
- ・今年度より虐待防止及び身体拘束等の適正化にかかる取り組みが義務化となりすたあとにおいても虐待及びハラスメント防止年間計画に沿ってヘルパー会議・法人全体研修において虐待防止について理解を深める為研修を行った。
- ・コロナ感染の規制緩和に伴ってご家族の希望の増加傾向もあり法人内各事業所と連携しながら短期入所・居宅介護等、（感染・設備対策を継続し取り組み）ご希望にお応えできるようサービス提供を行った。
- ・移動支援の需要も高まり利用者・支援員の安全を第一と考え外出先などを検討し支援を行った。
- ・地域の方々に楽しんでいただける様マルシェの開催を行った。
- ・SNSを活用しご家族との情報共有、利用者の方の体調の変化（発作等）等の様子を正確に伝えるための工夫を行った。
- ・人事評価制度推進・定着、面談を通し一人一人と向き合いながら強み弱みを認め合いコミュニケーションを大切に働きやすく・明るい職場環境の実践に引きつづき取り組んだ。

《重点課題に対する取り組み》

【運営基盤・体制の強化について】

- ・利用者が様々な福祉サービスを利用しながら地域で暮らすことが出来るように広い視野を持ち、一つ一つ丁寧な対応を心掛けた。支援の質の向上・利用者満足度の向上に努めた。
- ・利用者の高齢化を見据えた健康維持、健康に不安がある場合の早期対応の為ご家族・関係機関、相談員情報共有し福祉サービスの提案を行った。
- ・業務分担の明確化・効率化を課題として、職員兼務に伴いそれぞれ勤務場所が異なる為 SNS など活用し情報共有、漏れが無いよう気をつけなければならない。役割りの明確化、業務の効率化課題となる。

(2) 人材育成・支援力の向上

- ・今年度法人内で兼務体制が行われた。すたあとは事業が多い為事業毎に業務内容が誰でも把握できるよう、SNS体制を整えた。

予定表等確認、利用者情報、利用者支援状況・変更事項、マニュアルの更新等確認できる体制に努めた。

- ・1ON1 ミーティングの活用。一人仕事が多く事業の為面談を通じてコミュニケーションが円滑にでき働きやすい職場であることに努めた。
- ・意見が言いやすい環境にするためヘルパー会議の前にアイスブレイク継続し行った。

3. 利用者支援

・短期入所

今年度も昨年度に引き続き、コロナ感染対策の為事業所での安全な受け入れが行えるよう、検温・消毒・換気・マスクの着用などを行った。密を避けるために建物ごと少人数に分かれ、食事などの際もパーティションを設置し、利用者の安全を確保しながら対応を行った。

コロナ禍においても、家族の入院・高齢化・休息等の理由による短期入所の新規利用希望について相談は増えているため、可能な限り受け入れを行った。

- ・移動支援、行動援護

外出希望も徐々に増加傾向となり利用者・支援員の安全を第一と考え外出先などを検討し支援を行った。

- ・居宅介護

コロナ感染緩和となっても、検温・マスク着用・消毒等を行ったうえで支援に入った。居宅はニーズがあり新規利用希望の問い合わせも多く、家族の高齢化、独居生活等ニーズは様々、事業所の役割が重要になるケースも増加傾向の為、ご本人家族に寄り添い一緒に考えより良い生活が送れるよう支援を行った。

- ・日中一時事業

日中一時の形としては、短期入所を利用する前にご本人が慣れる為の利用、夕方の家族の仕事等の事情による利用（日中活動終了後の利用希望が一部の方からある）などが主になっている。

短期入所の定員が優先となっている。（定員：6名）、金曜日利用が課題となる。

4. 地域活動

今年度実績

すたあとマルシェ 8月21日開催

テーマ：笑顔（地域に笑顔の花を）

近所の高齢者 GH の方・すたあと利用者の方の笑顔の作品を展示、奏楽・童里夢とも連携し販売も行い地域の方たちに元気になっていただくためのイベントとして開催できた。

マザーズサロン

準備等出来ず開催出来なかった。

防災訓練

法人童里夢において地域の方々と防災訓練を開催できた。

5. 環境整備

今年度事業所入口スロープの修繕依頼しアスファルト舗装にすることが出来た。

土砂災害危険区域の金網フェンスの修繕について修繕していただいた。

自然環境を大切にしながら、景観を損なわない様敷地内の木の伐採を行った。

5月の大掃除の際はウッドデッキ等のペンキ塗り等を行った。

居室の畳を変える事ができた。

居室の家具など利用者の方が過ごしやすい様配置換えを行った。

6 . 防災計画・安全管理

○すたあとは土砂災害危険区域に指定されている為年2回防災訓練を行った。（9月・3月）

- ・9月すたあとの職員は女性が多い職場なので利用者と災害にあった際なるべく軽量で簡単に操作できる避難用具にした。災害はいつ起きるか分からない為建物だけでなく送迎中等考えられる場面に対応できるよう各公用車に仮設トイレの設置・送迎に向かう際はリュックに避難用具一式用意し（何が必要か意見を出し情報を共有しながら）運転手は送迎を行った。

- ・3月法人研修において（防災リスクマネジメント委員会を主体）豊橋市危機管理課の方を招き起震車体験・水消火器体験・講話等、地域の方々・利用者・職員で防災訓練を行った。
- ・防災食についてはパン缶・水のみとしたあとの特性から防災食はローリングストックを行う。
- ・安全面を意識し極力支援員複数配置できるよう短期入所など人数調整など継続し行った。
- ・火災についてはアルソックも6か月ごと点検をおこなっている。
- ・緊急カード（利用者・職員）の情報を法人内とすたあと倉庫において保管している。
※毎年9月に緊急カード更新を継続し行った。

7、職員研修

ヘルパー会議

- 4月 マニュアル作成について・実績の記入について・春バテについて（看護師）
- 5月 虐待防止法の理解と対応について・腰を痛めない介助について
- 7月 ヒヤリハット (サポカレ視聴)
- 9月 土砂災害避難訓練
- 10月：見直そうあなたの支援を（虐待防止・権利擁護に向けて）
- 11月：見直そうあなたの支援を（虐待防止についての支援の在り方について）
- 12月：ケース記録の書き方について（サポカレで視聴）
- 2月：不適切支援について（虐待防止・身体拘束）
- 3月：今年度利用者支援について振り返り

法人全体研修

- 第1回 6月：ヒヤリハットの報告書の書き方と活用法
防災HUG、送迎時の防災について
防災マップについて
- 第2回 9月：虐待防止研修（事例検討2つ）
未来事業構想について
- 第3回 12月：歯磨き支援につて
記録の書き方 part2
やってみよう！人材育成シュミレーションゲーム
- 第4回 3月：防災クイズ
いい職場を作りましょう
法人理念について考える
親睦会
- 外部研修 ほっとびあ 研修報告（鈴木洋）
「障害者への虐待防止の視点 障害者の権利擁護について」

8．苦情解決・権利擁護・虐待防止

- ・虐待防止及び身体拘束等の適正化にかかる取り組みの義務化。サービスの質の向上を重点課題とし定期的にセルフチェック表を活用し支援について話し合い共有し不適切支援の防止に努めた。満足度アンケート調査に応えヘルパー会議で話し合いを行った。